



河合克平 議員

佐屋北地区防災拠点の整備計画は

質問

佐屋北地区の防災コミュニティセンターの整備は。

企画部長

新規施設の建設ありきではなく、既存施設のあり方も含め、現在、公共施設のあり方については公共施設等マネジ

メント検討部会のなかで検討している。

質問

佐屋北地区について、地区の公民館・集会所などを市の防災拠点として、備蓄し、耐震改修できないか。

総務部長

耐震診断は、ふるさと推進助成事業の助成対象としている。地区の集会所、公民館への備蓄品の配置については現時点では考えていない。

質問

平成23年5月に策定した防災コミュニティセンター整備計画の今までの4年間の検証と今後は。

企画部長

国から全国の自治体に要請された公共施設等総合管理計画の策定を進めるなかで検討する。

総務部長

今後、新たな施設の整備をしていかなければというのが基本的な考えである。

質問

希薄化した地域コミュニティを強固にするため、コミュニティ推進協議会の結成を進めては。

企画部長

コミュニティ推進協議会がない地区に対し、職員が地域の中へ出向いて、後押しをしていく必要があると考える。自治基本条例も制定した。コミュニティ形成について、市としては重要な施策の一つと認識している。

質問

佐屋プールの今後と、親水公園多目的広場の整備は。

教育部長

アンケート結果や市の財政面と他市の状況などを総合的に考え、改修に高額な費用が必要なため、再開は考えていない。来年度は、佐屋プールの代替として学校プールの開放を検討しているが、中学校については考えていない。管理と費用は指定管理委託の中で対応したい。

親水公園多目的広場は調整

佐屋プールの今後は

池としての機能と役割を持っている。他の運動場と比較しても若干やわらかい状況である。年に1回、防じん、保湿を目的とした液体保水剤を散布し、広場内の側溝しゅんせつ清掃も行っている。今後の整備については、状況に応じた対応する。

その他の質問

- ・佐屋駅前広場の安全確保について
- ・日比野駅・オオクワ北踏切の安全確保について

